

『社会言語科学』特集論文の募集のお知らせ

学会誌編集委員会では、以下の要領で特集「相互作用のマルチモーダル分析」(エディター：細馬，片岡，村井，岡田)の論文を募集いたします。特集に投稿された論文は、通常の投稿論文と同じく、査読を経て掲載が決定されます。

なお、特集では最終投稿期限が設定されていますのでご注意ください。投稿論文は基本的に投稿され次第、査読作業に入ります。したがって、より早く投稿された論文ほど、査読が早く済み、論文を修正する機会が多くなります。最終投稿期限は特集の投稿を受け付ける最終期限という意味ですので、早く投稿できる方は早めに投稿されることをお勧めします。刊行時期までに採用とならないときは、特集号以外の号に掲載されることもありますのでご了解ください。

特集論文の最終投稿期限：2010年12月10日(金) [郵送の場合消印有効]

掲載号の発行：2011年8月(第14巻1号に掲載予定)

特集論文の投稿先：

E-mail：edit06@jass.ne.jp

郵送：〒169-0075

東京都新宿区高田馬場4-4-19

(株)国際文献印刷社内

社会言語科学会担当

* 投稿に際しては、メールの件名あるいは封筒の表に「特集投稿論文」と明記してください。

タイトル 相互作用のマルチモーダル分析

担当エディター 細馬宏通(滋賀県立大学)

片岡邦好(愛知大学)

村井潤一郎(文京学院大学)

岡田みさを(北星学園大学)

近年、映像データのアノテーションを手軽に行えるソフトが増えてきたことで、複数の参加者による言語活動に伴うさまざまな行動を、従来にない精度で分析する可能性が開けつつある。その結果、発語以外のさまざまな身体活動は、瑣末な現象ではなく、発語と緊

密な時間関係を結びながら複雑なコミュニケーションを実現していることが、多くの研究から明らかになりつつある。

例えば、マルチモーダル研究に造詣の深い Goodwin は、人間がどのように自らの行動を構築しまた他者の行動を解釈するかを、私達がよりよく理解するためには、言語、非言語、モノが並置されたその総合体を分析の対象にしなければならないと言う (Goodwin 2000)。Goodwin (2000) は、言語のみを取り出し、それ以外のすべてを言語と切り離して「文脈」というカテゴリーに入れる、というアプローチを批判し、会話の参加者自身がその瞬間に志向している言語、非言語、モノが相互参照的に意味を与えあっている様相をそのままに観察すべきであると主張する。

加えて、言語・身体表現による意味形成や発現の可能性には文化間差異やコミュニティの嗜好性があることもわかっている。例えば、言語表現は変わらずとも、絶対的方位への認知的指向性が身体表象を通じてにじみ出てくる現象 (Haviland 1993) や、血縁関係を空間的ジェスチャーによって語るという文化的な実践 (Enfield 2005) に見られるとおり、言語、身体、環境の協働でしか伝わらない意味というものがある。

さらに 2010 年の国際会話分析学会のメインテーマは「マルチモダリティ」で、多くの若い研究者たちが、言語表現だけでなく、それに伴う身体表現の重要性に着目した分析について発表を行うという従来にない内容となった。Heath & Luff (2010) は、医療現場、管制室、オークション会場などさまざまな現場でのデータを紹介しながら、ビデオ分析を進めるための基本的な手続きを整備しているが、こうした教科書の登場も、マルチモダリティに対する注目をいっそう高めることになるだろう。

今回の特集では、こうした潮流を踏まえて、マルチモーダル分析の中でも、特に言語と言語以外の身体活動との関係に着目した相互作用研究を取り上げる。対象となる言語は日本語の口語に限らず、手話や諸外国語も含める。以下は想定される内容例だが、これらに限らず、本特集の趣旨に合う研究を広く歓迎する。

- ・ 道具使用、スポーツ、食事場面、教室、介護施設などさまざまな身体活動に関わる現場での相互作用の分析
- ・ 日常会話におけるマルチモーダル分析
- ・ 言語以外の要因を考慮したマンマシン・インターフェース研究
- ・ 言語・非言語コミュニケーションに着目した実験研究

参考文献

- Enfield, N. (2005). The body as a cognitive artifact in kinship representations. *Current Anthropology* 46 (1), 51-81.
- Goodwin, C. (2000). Action and embodiment within situated human interaction. *Journal of Pragmatics*, 32, 1489-1522.
- Haviland, J. B. (1993). Anchoring, iconicity and orientation in Guugu Yimidhirr pointing gestures. *Journal of Linguistic Anthropology* 3, 3-45.
- Heath, C. & Luff, P. (2010). Video in Qualitative Research (Introducing Qualitative Methods series). London: Sage Publications.